

令和6年度第2回亀岡市地域公共交通会議(令和7年1月21日開催) 議事要旨	
議事 (1) 亀岡地区コミュニティバスの経路変更について (2) 地域間幹線系統補助に係る令和7事業年度の地域公共交通計画変更認定申請について	
議事 (1) 亀岡地区コミュニティバスの経路変更について	
委員 (利用者の代表)	所要時間の増加に伴い減便するということが、たった2分のために便数を減らす必要があるのか。
事務局	東コースの1便あたりの所要時間が2分増加するので、これまでどおり10便運行すると、計20分増加することとなる。また、亀岡駅発着に遅延が出ている状況もあることから、余裕を持ったダイヤ編成とするため、今回1便減らすこととした。
委員 (利用者の代表)	利用者は少ないかもしれないが、利用者がいる以上、必要なバスである。免許を返納されている方も多いため、その辺りに配慮をお願いしたい。
会長	1便あたりの所要時間が増加するので、1日の運行時間が大きく増加するという。便数は多い方が良いが、運行時間とのバランスを考慮して決めたということかと思う。バス停数が2から3に増えるが、バス停を増やしても、前後のバス停から利用者が移るだけで、全体としては増加しない場合もある。経路変更によって利用が増えるよう、地域の皆さんにアピールしていただきたい。
委員 (近畿運輸局京都運輸支局)	バス停の位置については、どのような過程で決まったのか。
事務局	位置については、地元自治会及び住民の了承を得て、決定している。
オブザーバー	バス停の位置については、自治会だけでなく、運行事業者の意向も踏まえて協議した。霧二公園前で乗車される方を見ると、意外と買い物の方は少ない。利用実績の7人は、高校生やギャラリーに行かれるなど、固定客の人数と思われる。そこから利用を増やすためには、アミティに買い物に行かれる方などを増やさないといけない。自治会でサンガの試合観戦に行った際、西つつじヶ丘までコミュニティバスで帰ったのは私一人だった。普段乗らない方には、コミュニティバスの経路やダイヤを知られていない。西つつじヶ丘住民に向けた時刻表を作成したら、利用者の掘り起こしができるのではないかと思う。
会長	地元自治会としても、利用促進に取り組んでいただきたい。
委員 (京都府南丹土木事務所)	減便によって東コースの最終便の時刻が早まるが、利用客が少ないから減らしたのか。
事務局	改正後のダイヤについては、減便によって1本抜くという形ではなく、時間が均等になるよう設定している。ただし、東コース最終便の時刻が早まることによる影響は、実際にやってみないと分からない部分もあるので、利用者の状況を見ながら、今後利用しやすいダイヤを検討していきたい。
会長	それも含めて実験していくということだと思うので、使いやすくなるよう試行錯誤していただきたい。 他に意見が無いようであれば、承認いただいたものとする。

議事（2）地域間幹線系統補助に係る令和7事業年度の地域公共交通計画変更認定申請について	
委員 (近畿運輸局京都運輸支局)	事前に確認したところでは申請書の内容に問題はなさそうだが、今後修正が必要な場合は事務局の方で対応いただきたい。 亀岡地区コミュニティバスの件も含めて、運転士不足は全国的な問題となっており、再編、減便、休廃止は京都市内でも起こっている。2024問題を契機として、運転士の拘束時間が制限されており、各事業者で運転士のやりくりを苦慮されているということは承知いただきたい。公共交通を支えていくためには地域住民の利用がマストであり、国や自治体による財政負担も増えているので、住民の皆さんには利用しないとバスが無くなるという危機意識を持っていただきたい。人口が減少する中であるが、利用促進に取り組むことは重要で、自治会長をはじめ地域の皆さんに、バスに乗って路線を残そうという意識をもって取り組んでほしい。
会長	他に意見が無いようであれば、承認いただいたものとし、事務局から国へ提出していただく。
事務局	申請書類に修正が必要な場合、軽微な修正は事務局で対応させていただくので、了承いただきたい。
その他	
事務局	2月16日に、ガレリアかめおかで映画「つぎとまります」の上映会を実施する。運転士不足等の問題がある中で、監督が亀岡市内で撮影いただいた映画であり、皆様お誘いあわせのうえ、ご覧いただきたい。
会長	京都シネマで上映されていたが、非常に人気であった。皆さんご覧いただきたい。

以上